## 平成28年 署·業種別死亡災害発生状況

(確定分)

広島労働局

92 DJ	平成2	7年					平成2	28年									
署 別	年 間		全産業		製造業		建設業		運輸交通業	その他		増減					
広島中央	8	(3)	2				2					-6	4				
呉	1		3		3							2	411				
福山	4	(2)	5	(1)	2	(1)	1		1	1		1	3				
三 原	3	(2)	2		1					1		-1	ì				
尾道	1		1	(1)						1	(1)		-				
三次	3	(1)	2							2		-1					
広島北	2	(1)	2						1	1			П'				
廿日市	2	(1)	1	(1)			1	(1)				-1	11.				
合 計	24	(10)	18	(3)	6	(1)	4	(1)	2	6	(1)	-6					

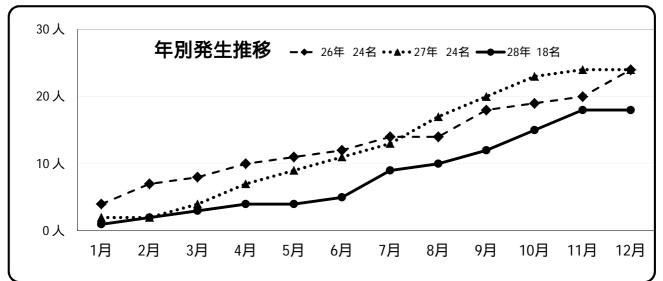
					<b>Д</b> Е	コノリロ	到门
71015	業系	重	平成	27年	平成	;28年	増減率%
全	産業		24	(10)	18	(3)	-25%
製	造	業	5		6	(1)	20%
建	設	業	3		4	(1)	33%
運輔	俞交i	重業	4	(3)	2		-50%
そ	の	他	12	(7)	6	(1)	-50%
内	農村	林業			2		+
	商	業	4	(3)	1		-75%
±⊓	清	掃	1	(1)	1		
訳	その	)他	7	(3)	2	(1)	-71%

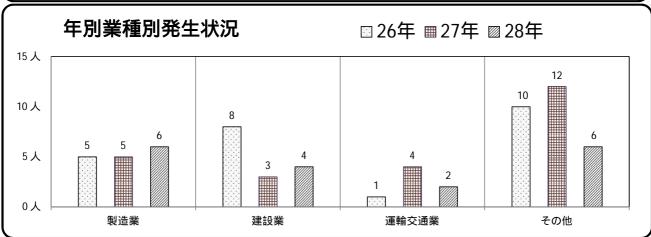
(注1)()は交通事故で内数。

(注2)業務上外、労働者性等調査中のものを含む。

最終発生日 平成28年11月28日

			10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
全	産	業	53	72	53	41	31	33	70	47	39	35	41	19	31	30	31	28	24	24	18
製	造	業	12	13	10	7	8	10	17	9	11	6	19	5	10	6	5	5	5	5	6
建	設	業	20	18	21	18	11	7	23	13	6	12	7	4	7	8	7	9	8	3	4
運軸	俞交证	重業	10	15	8	7	5	6	16	9	12	8	4	2	4	10	4	4	1	4	2





平成26年及び平成27年については年間確定件数、平成28年については上記最終発生日現在の件数。

## 平成28年 死亡災害発生状況

広島労働局

	発生月	業種	性別	年齢(十歳代)	職種	事故の型	起因物	災害発生状況
1	1月	運輸交通業	男	50 代	運転者	飛来、落下	荷姿の物	運搬先のターミナルにて荷卸し作業中、荷台に載せていたロールボックスが落下し、労働 者の頭部を直撃した。
2	2月	建設業	男	40 代	解体工	崩壊、倒壊	建築物、構築物	木造建ての解体作業中、落下してきたベランダの下敷きになった。
3	3月	製造業	男	40 代	作業員	はさまれ、巻 き込まれ	クレーン	ドックサイドを移動中、走行してきたクレーンのサドルとドックサイドの手すりの間には さまれた。
4	4月	清掃・と 畜業	男	50 代	作業員	飛来、落下	解体用機械	車両系建設機械(グラップル)を用いてフレコンバックを積み込む作業を行っていたところ、フレコンバッグが落下して被災した。
5	6月	運輸交 通業	男	50 代	運転者	その他	起因物なし	トラックを運転中に心筋梗塞の発作を起こし、中央分離帯を越え反対車線を走行中の車両に接触した。
6	7月	貨物取 扱業	男	60 代	管理者	有害物等との 接触	異常環境等	台船のマンホール内部に立ち入ったところ、内部が酸素欠乏状態となっていたもの。
7	7月	製造業	男	60 代	作業員	激突され	フォークリフト	梱包された角材(約1トン)を後進走行で運んでいたフォークリフトに歩いていた被災者 が激突された。
8	7月	農林業	男	60 代	作業員	墜落、転落	はしご等	脚立を使用して庭木の剪定作業中、庭木が植えられている場所から2.4m下の地面に転落した。
9	7月	製造業	男	20 代	運転者	激突され	軌道装置	軌道を走行する台車(A)を運転中に交差点で停止線を超えて停止したところ、交差点内を横切った別の台車(B)に激突された。
10	8月	建設業	男	40 代	作業員	墜落、転落	エレベーター、 リフト	ロングスパン工事用エレベーターを使用し13階に上がったところ、エレベーター床先と 躯体とのすき間から墜落した。
11	9月	製造業	男	50 代	艤装工	墜落、転落	建築物、構築物	高所作業車が接触した作業ヤードの手すりの状況を確認していたところ、手すりが破断 し、3.6m下の船台に墜落した。
12	9月	建設業	男	60 代	電工	墜落、転落	屋根、はり、も や、けた	地上から約31mの高さにある梁上で避雷針取替作業を行っていたところ、梁間の開口部から約4m下のステージに墜落した。

## 平成28年 死亡災害発生状況

広島労働局

	発生月	業種	性別	年齢(十歳代)	職種	事故の型	起因物	<u> </u>
13	10月	その他 の事業	男	60 代	警備員	交通事故(道 路)	トラック	舗装工事現場で交通誘導を行っていたところ、車にはねられた。
14	10月	商業	男	50 代	作業員	飛来、落下	その他の用具	床上でクレーンの運転操作中、吊っていたパレットが落下し下敷きとなった。
15	10月	建設業	男	30 代	設備機械工			建設工事現場に向け高速道路を走行中、中央分離帯を越え反対車線へ飛び出して横転し、 その後大型トラックが当該車両に衝突した。
16	11月	農林業	男	40 代	作業員	激突され		伐倒された立木が倒れる際、ツルの絡まった別の立木が引っ張られ倒れた時に激突され た。
17	11月	製造業	男	60 代	艤装工	高温・低温の 物との接触	アーク溶接装置	高所作業車を使用して溶接作業中、作業服に着火し被災した。
18	11月	製造業	男	50 代	作業員	交通事故(道 路)	トラック	工場から本社へ自転車で公道を移動中、後から軽トラックに追突された。